



あさぎり町 農業委員会だより



＜まもりのりーん農業＞

令和6年
12月発行

編集発行：あさぎり町農業委員会

あさぎり町免田東 1199 番地 ☎ 0966-45-7225
<http://www.town.asagiri.lg.jp/>

『虹の壁』



祖父母と一緒に
頑張っています

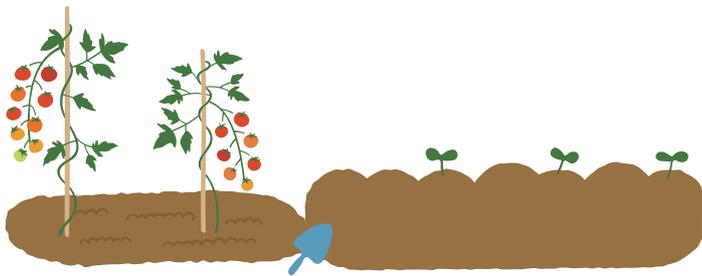


いろいろな かたち ～農業者紹介～

塚本 純央 さん

免田地区
2023年8月就農

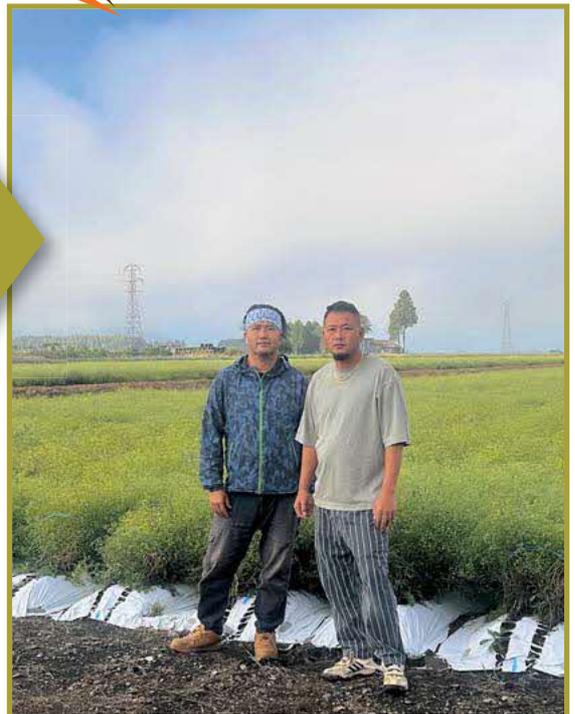
- ・いちご・水稲・麦・とうがらしを作っています。
- ・祖父母に教えてもらいながら頑張っています。しっかり教えてもらって、一人前になれるよう頑張りたいと思います。



兄弟で
頑張っています

池田 義彦 さん 2003年4月就農
池田 輝之 さん 2023年9月就農
上地区

- ・葉タバコ・WCS・ミシマサイコ・水稲を作っています
- ・家族全員で力を合わせて頑張っている毎日です。農業経営が厳しい中、補助事業を活用しながら、規模拡大を、目指していきたいです。



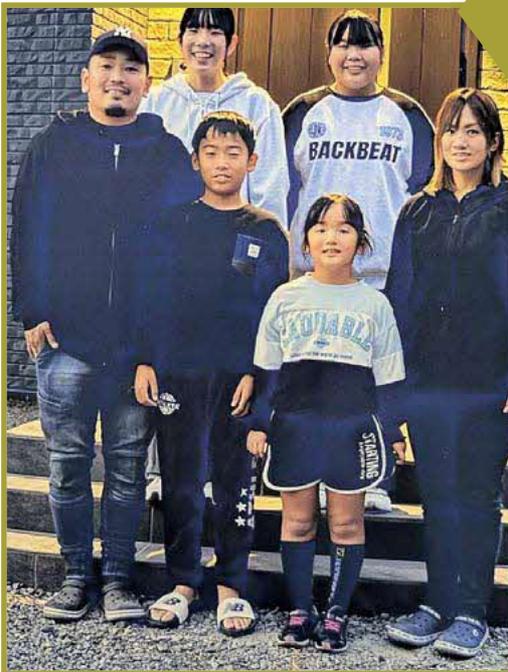
城本 勇希 さん 2017年7月就農
城本 千聖 さん 2023年9月就農
岡原地区

夫婦で
頑張っています

- ・葉タバコ・水稻・メロン・里芋・さつまいもを作っています。
- ・父や地域の農家の先輩方から生産技術はもちろん経営のノウハウなどをしっかりと学んでいきたいです。理想とする農業経営ができるよう、常に多角的な視点を持ち農業に取り組んでいきたいです。



夫婦で
頑張っています



橋口 龍馬 さん 2007年9月就農
橋口 由佳 さん 2016年5月就農
深田地区

- ・繁殖牛・メロン・キュウリ・水稻・WCSを作っています
- ・繁殖母牛が1年1産できるように頑張っています。市場に子牛を出したときに、買っていただいた方に喜んでもらえるように子牛作りを心掛け、両親が残してくれた農地を妻と二人で守っていきたいです。





私たちが

新しい農業委員になりました

令和6年4月13日より新委員が5名誕生しました!ご紹介します。

池上 勇一郎

担当：榎田・上永里

経営内容：肉用牛（繁殖）

趣味・特技：探し中

好きな有名人は、
松山千春です



やるべきことを頑張ります!

田中 伸明

担当：開墾・齊堂

経営内容：水稻・WCS・麦

趣味：バイク・キャンプ・ゴルフ

特技：DIY

好きな有名人は、
所ジョージと
大谷翔平です



農業委員1年目として、研修会等を通して農業委員制度やその役割について勉強中です。

まだまだ微力ではありますが、あさぎり町の農業の発展のため、農業委員としての役割をしっかりと努めてまいります!

藤原 ルミ子

担当：西別府

経営内容：水稻・肥育・麦・WCS

趣味：映画鑑賞・読書

好きな有名人は、
綾瀬はるか
です

今まで、農地のことについて
考えたことがなかったので、
これからいろいろなことを体
験し、学習して意見できるよ
うになりたいです！



稲富 裕二

担当：麓・秋時

経営内容：水稻・WCS・ミシマサイコ

趣味：音楽鑑賞

特技：ドローンを飛ばすこと

好きな有名人は、
石橋凌です

あさぎり町の農業発展のために
努力します！



北崎 一英

担当：古草城・明廿・新（新深田）

経営内容：繁殖牛・サツマイモ

趣味・特技：探し中

農家の役に立つように、
委員の業務を頑張ります！



特集

「誕生」農事組合法人 須恵かちやあ

令和6年4月26日設立

（設立までの道のり）

近年、地方が抱える人口減少問題については合併後の人口減少率の高い須恵地域も深刻な課題でした。当地域は、球磨川を挟んで水田257haの農地を有する中山間地帯です。いかにして当地域を持続可能な地域にしていくのか、そのためには、法人化は必要不可欠との意向のもと、かつての4か所の集落営農生産組合を一つに統合し法人化を模索してきました。

令和2年8月に世話人会を立ち上げ、これまで約100回の研修会等の協議を重ね、ようやく誕生させることができました。須恵地区には30年の実績を持つ湯の原機械利用組合があり利用組合の位置づけについては最も大きな課題でもありました。

世話人会から検討委員会、そして発起人会と4年近い長い時間を要しましたが、その分メンバーの団結力も深まり、より強固な組織が出来たと確信しています。これも一重に須恵地域の皆様方のご理解とご協力あつての事であり、感謝に堪えません。また、あさぎり町を始め、JA球磨、球磨地域振興局等関係機関のご指導、ご支援に対しまして深く感謝申し上げます。



かちやあの機械第1弾



設立総会にて



旧消防詰所を事務所に

後継者もおらず、将来が不安でしたが、自分が作れなくなったら法人に預けたいと思います。

60代 男性

須恵地区の農地を守ると同時に、新しい雇用が生まれるといいですね！

50代 女性



須恵の伝統である「はじあいとかちあ」の精神が引き継がれ嬉しく思います。期待しています。

70代 男性

〈これからの取り組み〉

「須恵かちあ」は、スローガンとして、須恵地域に残る「はじあいとかちあ」の精神のもと、地域の農業や農地の受け皿として、コスト低減や利益の増進などによる持続可能な法人経営を行うことにより「地域と共に稼げる農業」を実現することを目的としています。個人の力では限界があり、個々の力を結集してこそこの現況を乗り越えることができるものと思います。先人たちが築き上げてきた伝統と精神を引き継ぎ、後世に伝えていくことは私たちの使命と考えます。

本年は、受託作業を中心に、3.6haの水田を利用権設定し普通期水稻を全水田に、裏作として大麦を1ha栽培、初期投資の嵩む大変厳しいスタートとなりましたが「須恵かちあ」は、ようやく産声を上げたばかりです。一年でも早く存在を認めていただき、町内へ波及していくよう役員一同最大限努力していく所存です。

地元地域の皆様を始め、関係機関の皆様には今後ともご指導ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

代表理事 久保田 久男

大切な農地を守っていくために

あさぎり町の農地を守っていくために、今のうちから将来のことを考えておくことが大切です。農業委員会では、目標地図素案作成に向けて、地区別で協議をしています。農業委員がお伺いした際には、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。※目標地図とは、農地ごとに将来の受け手をイメージとして印すもので、これによって権利が設定されるものではありません。



農地パトロールの実施

あさぎり町農業委員会では、8月20日から28日までを農地パトロール期間として、町内の全農地を対象に農業委員全員が農地の利用状況を調査しました。現地調査では、遊休農地等の確認を中心として、違反転用の有無などを確認しました。

調査で感じたことは、特に山間部では荒廃農地が拡大していることです。少子高齢化、後継者不足、鳥獣被害など様々な要因があると思いますが、憂慮すべき課題でもあります。

あさぎり町農業委員会としても、このような課題と向き合いながら、あさぎり町の農地を守るために活動していきたいと思えます。



稲富 裕二



農業委員会新任委員 研修を受けて

8月21日に農業委員会新任委員研修があり、あさぎり町から5名の新任委員が参加しました。農業委員の活動をするにあたり必要な農地法等について、農業者年金について、農地中間管理機構についての研修がありました。また「わたしの農業委員会活動」と題して、天草市農業委員の活動事例報告がありました。短い時間ではありましたが、内容が濃い研修でした。

あさぎり町農業委員としての今後の活動に生かしていきたいと思えます。

北崎 一英



農業者年金特別研修会に 参加して

令和6年度熊本県農業者年金加入推進特別研修会が9月12日「ホテル熊本テルサ」で開催され、農業委員6名が出席しました。

初めに令和5年度の各部門の表彰があり、あさぎり町農業委員会は熊本県農業会議会長賞で団体3位の表彰を受けました。

その後の講演は、天草市農業委員会の本田実会長より「天草市農業委員会における加入推進の取り組みについて」と題され、取り組み内容について話されました。年2回の加入推進会議とブロック別会議および二人一組になったの戸別訪問を実施した結果、熊本県において団体1位などの表彰に繋がったとの話がありました。

今後、長寿社会が益々進行していきます。老後の生活の安定のため、ぜひ夫婦で農業者年金への加入をお勧めします。農業者年金についてのお尋ねは、お近くの農業委員または農業委員会事務局までご相談ください。

藤本 勇二

農業者年金に加入しませんか？

農業者年金には★**通常加入**→要件確認
(2万円～6万7千円)

- ①国民年金第1号被保険者
- ②年間60日以上農業に従事
- ③60歳未満

加入できます

★**政策支援加入**
(国庫補助あり)

要件を満たせば加入できます

さらに!!
便利になりました!

- ① 35歳未満で、政策支援加入対象とならない人は、1万円から加入できます。
- ② 受給開始時期の選択肢が広がりました。(65歳から75歳)
- ③ 農業者年金の加入可能な年齢の上限が60歳から65歳までに引き上げられました。

詳しい内容については、農業委員会事務局までお尋ねください。

みんな集まれ～「おいでカフェ」オープン!

この度、あさぎり町にみんなの居場所「おいでカフェ」を開設しました。地元農作物をふんだんに使ったみんな食堂です。

現在は岡原福祉センターかえで館を拠点に毎月第3日曜日を開催としていますが、今後はあさぎり町を巡回する予定です。子どもたちから高齢者のみなさんの笑顔の交流の場となります事を願って開設しました。

食材の提供、スタッフ募集と賛同いただける方は、ぜひ一緒に活動しましょう。よろしくお祈いします。



～これまでの活動～

★第1回 10月20日

★第2回 11月17日

～今後の予定～

★第3回 12月15日

オープン 11時～14時まで



詳しくは、おいでカフェ代表
宮原久子まで

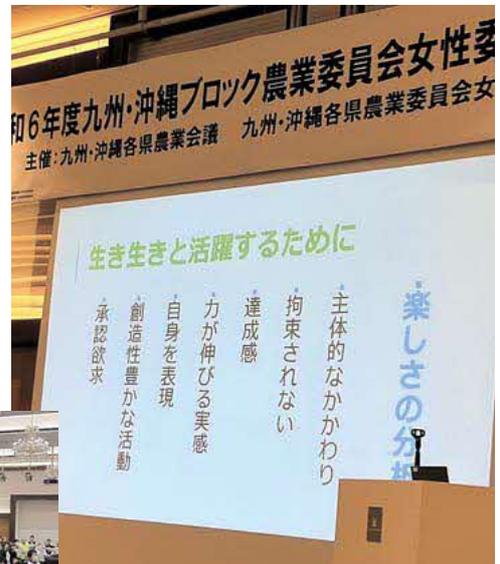


笑顔溢れる女性委員研修

11月20日、21日と九州沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会が佐賀市で開催されました。あさぎり町女性委員4名が参加、2日間にわたり盛り沢山の研修と他県の委員のみなさんと交流を深めました。全国女性協議会会長の横田友氏に女性委員の役割と題し講演頂きました。

会長の沢山の経験談、力強いパワーと行動力、とても刺激を受ける貴重な時間でした。そのあと、武雄市レクリエーション会長である森恵美氏に『心の元気づくり～女性活躍・地域活性化のために～』と題して、ご講演いただき会場が割れんばかりの歓声と笑顔に包まれました。親睦を深め沢山の収穫があった研修でした。

宮原 久子





農業者年金を受給しています



北川 省二 さん
(須恵地区)

農業者年金に加入したきっかけは、親から勧められたことでした。国民年金だけでは、不安の中、個人でも積み立てをしていたものの、子どもたちの進学等で、使い果たしてしまうことに…。しかし農業者年金に加入していたこともあり、老後も自立した生活が送れると思います。これからは、将来の自分の面倒は自分で看なければなりません。
みなさん農業者年金に加入すると共に、健康で過ごしましょう。



杉下 綾 さん
(岡原地区)

農業者年金に加入したのは、15年ほど前で55歳の頃だったと思います。その頃は、国民年金も払っており、正直月2万円は厳しく渋々加入しました。自分が生きているかどうかも分からない未来のことは、どうにかなるさという思いだったからです。しかし受給している今は、加入年月が短かったこともあり、受給額はわずかですが、国民年金と別に臨時収入が入ってくるのはやはり嬉しい気持ちです。
ラジオでよく耳にするフレーズ：人生100年時代。農業者は国民年金だけでは生活していくのには苦しいと…。
受給する年齢になり実感しています。農業者年金は老後、必ず役に立ちますよ。
加入を検討されているみなさん、早めの加入をお勧めします。

熊本県 農業公社(農地中間管理機構)は 円滑な農地の貸し借りを公的な立場でサポートします

熊本県農業公社は、4つの安心仕組みで農地貸借をお手伝いします

- 県知事の指定を受けた県内唯一の機関です
- 市町村に窓口手続きを代行 いただてます
- 市町村農業委員会総会の審議を経て手続きを行います
- 県知事の認可・公告を経て契約が成立します



<出し手のメリット>

- 賃料は農業公社が受け手から徴収し、お支払いします
- 貸された農地は、契約期間満了後に確実に戻ってきます(更新可能)
- 相続税、贈与税の納税猶予が継続されます(税務署への届出が必要)

<受け手のメリット>

- 出し手が複数でも賃料は公社が一括して口座から引き落とすため、賃料支払の事務は不要です(振込手数料なし)
- 分散した農地の集約化が可能となり、作業効率や生産性の向上につながります

手続きは市町村の農政担当課または農業委員会に受付窓口を代行していただいております

公益財団法人 熊本県農業公社 Tel 096-213-1237



農業現場に役立つ旬の情報をお届けします!
購読してみませんか?

全国農業新聞は地域農業者の代表機関である農業委員会ネットワークが発行する週刊の農業総合専門誌です。

発行日 毎週 金曜日
購読料 1ヵ月 700円
(送料 税込み)

◎購読申し込みは、
農業委員会事務局まで

編集後記

今年、能登半島においては、新年早々の地震に始まりその災害復旧もままならぬ9月に水害と、数年前に熊本で立て続けに起こった災害を思い出すような年となった。一方、あさぎり町内においては、南海トラフ巨大地震の注意情報が出て災害が身近に起こりうる事を再認識したわけだが、今年も残すところあと2か月。平穩に過ぎる事を祈るばかりだ。

さて、今年農業界では、令和の米騒動と言われ何十年ぶりの米価がついた。米農家も少しは息を付けるかもしれないが、今までの安値ではとても肥料高騰や農業機械の値上げには追いつかない。農業は一部の直接販売を除いては自分で値段を決められず、経費が上がっても市場や業者に買ったたかれ機械の更新もできず米を作らない農家が増えた。是非この機会に経費が上がった分を販売価格に転嫁できる仕組みづくりを国やJAには確立していただき、消費者には米作りの現状を理解してもらい米の価値を知っていただきたいと思います。

中村 好文

農業振興対策班

班長 田崎洋一郎
副班長 井手久美子
宮原 久子
藤本 勇二

宮原 範行
中村 好文
北村 一英
稲富 裕二